あたらしい本のしょうかい

小学生向け

斜里町立図書館（しゃりちょうりつとしょかん）NO.145 2017.5

1・2年生向け

『いち、に、さんすう　ときあかしましょうがっこう　すきなじかん　きらいなじかん』

みやした　すずか　ぶん

すきなじかんときらいなじかんはどうしてみじかくかんじたり、ながくかんじたりするんだろう？みんながかんじるさいこうのじかんって？さんきちくんときゅうたくんの「さんきゅう」コンビがじかんのかんじかたについてかんがえます。

『こうえんのおばけずかん　おばけどんぐり』

さいとう　ひろし　さく

こうえんのベンチでいねむりしたり、みずのみでみずをのんだりすると…こうえんにはこわ～～いおばけがいっぱいいます。こうえんでおばけにあったときどうすればいいのかな？このおはなしをよんでみよう。まちのおばけさがしもあるよ。

『ゾウの赤ちゃん』

さえぐさ　ひろこ　ぶん

アフリカのサバンナにくらすゾウ。ゾウはなかまでこうどうする「むれ」をつくってくらしています。ゾウのあかちゃんは「むれ」にまもられ、いろいろおしえられながらたいせつにそだてられます。ゾウのあかちゃんがおおきくなるまでをしゃしんでみてみよう。

3・4年生向け

『マーサとリーサ３　花屋さんのお店づくり、手伝います！』

たかおか　ゆみこ　作・絵

マーサとリーサの町に花まつりの季節がやってきました。女の子たちが花かんむりをかぶっておしゃれするそうです。ふたごのマーサとリーサのワクワクはとまりません。花かんむりをたのみに、町いちばんのお花屋さんにいくけれど…。

『ゆくぞ、やるぞ、てつじだぞ！』

ゆき　作

勉強はいまいち、運動もさっぱりできない！けれどだれよりもひたむきなてつじの周りはいつも笑顔であふれている。折り紙つきの「へんなやつ」5年生のてつじと仲間がくりひろげるユーモアいっぱいの物語。

『さくら研究ノート』

近田　文弘　著

春になると日本中でさくらがさきはじめます。いちばん植えられているのはソメイヨシノというさくらです。春以外の季節のさくらはどうなっているかな？さくらの花のなかはどうなっているのかな？など、さくらに関する疑問をイラスト付きで分かりやすく紹介。

5・6年生向け

『本当にあった？　世にも不可解なお話』

たから　しげる　編

この本のキーワードは「不可解」。無くしてしまった探しものを夢の中で見つけたり、ふとしたときに未来がわかってしまったり…。この本を書いた作家たちに「本当に起こった不可解なこと」をお話として紹介。

『３つ数えて走り出せ』

エリック　ペッサン　著

ありふれた月曜日、トニーとアントワーヌは走り出した。通学カバンは茂みに捨てて、何も考えずに、ゴールがどこなのかも知らずにただどこまでも遠くに行こうとして…ひたすら走り続けて国中で知らない人はいない有名人となった13歳の少年たちのゴキゲンな逃走劇。

『さかなクンの一魚一会　～まいにち夢中な人生～』

さかなクン　著

大好きなものに夢中になり続けた男の子はやがてさかなクンとなりました。人と出会うことの大切さと大好きな事を続けることの大切さを教えてくれる、ワクワクと感動がいっぱいつまった、さかなクンのギョギョギョ！な人生を見てみよう。

★読みたい本があったら、どんどん図書館へ電話をしてくださいね。でんわ：２３－３３１１★